

## ＜タイムスケジュール＞

### 全体スケジュール

	3月17日(土)	3月18日(日)
午前	10:00～ 受付(以降随時) 10:00～12:00 理事会(403) 11:00～13:00 学生企画シンポジウム(401)	09:00～10:30 一般研究発表B(301～304) 10:40～12:00 実行委員会企画 ＜大越健介氏基調講演＞(401) 12:00～13:00 昼食
午後	13:30～15:00 一般研究発表A(301, 302, 303) 15:10～17:10 国際交流委員会企画シンポジウム＜身体と質的研究＞(401) 17:20～18:20 学会総会(401) 18:30～20:30 懇親会(東京ガーデンパレス)	13:00～15:30 研究委員会企画シンポジウム ＜スポーツとモニタリング＞ (401) ※一般公開シンポジウム 15:30～16:00 休憩 16:00～17:00 一般研究発表C(301, 302, 303)

### 一般研究発表の会場とタイムスケジュール

17日(土)	301教室	302教室	303教室	304教室
13:30-15:00 一般発表A	17A1 <u>＜物語＞</u> <u>清水諭氏</u> 1. 高橋一友氏 2. 立石実穂氏 3. 高峰 修氏	17A2 <u>＜身体技法＞</u> <u>西山哲郎氏</u> 1. 亀山佳明氏 2. 迫 俊道氏 3. 白石義郎氏	17A3 <u>＜教育＞</u> <u>菊幸一氏</u> 1. 宮本幸子氏 2. 山中大輔氏 3. 田嶋大樹	休憩室
18日(日)	301教室	302教室	303教室	304教室
09:00-10:30 一般発表B	18B1 <u>＜社会化＞</u> <u>亀山佳明氏</u> 1. 足立潤哉氏 2. 石原豊一氏 3. 山崎貴史氏	18B2 <u>＜メディア＞</u> <u>リー・トンプソン氏</u> 1. 水出幸輝氏 2. 石井 克氏 3. 仲間厚人氏	18B3 <u>＜歴史＞</u> <u>石坂友司氏</u> 1. 八木久仁子氏 2. 古川岳志氏 3. 渡 正氏	18B4 <u>＜地域振興＞</u> <u>前田和司氏</u> 1. 笹生心太氏 2. 向山昌利氏 3. 岡田泰徳氏
16:00-17:00 一般発表C	18C1 <u>＜遊び＞</u> <u>杉本厚夫氏</u> 1. 井上智介氏 2. 森本拓也	18C2 <u>＜地域政策＞</u> <u>水上博司氏</u> 1. 安井大樹氏 2. 高橋豪仁氏	18C3 <u>＜医療＞</u> <u>倉島哲氏</u> 1. Patrick Jachyra 氏 2. 本郷正武氏	

## <大会日程>

-----◆ 3月17日(土) ◆-----

●10:00以降随時 受付 第2教育棟エントランスホール

●10:00~12:00 理事会 4階403教室

●11:00~13:00 学生企画シンポジウム 4階401教室

<近代スポーツの果て、あるいはその先を問う>

司会 水出幸輝(関西大学大学院)

話題提供者 小丸超(龍谷大学)

浜田雄介(京都産業大学)

佐藤彰宣(立命館大学)

コメンテーター 西山哲郎(関西大学)

●13:30~15:00 一般発表 A

A- 会場1:3階301教室: <物語> 座長: 清水諭(筑波大学)

17A1-1: 高橋一友(学生会員: 京都大学大学院)

スポーツとしての競馬一名馬を事例に一

17A1-2: 立石実穂(関西大学大学院)

「甲子園の土」の神聖化

17A1-3: 高峰 修

東京2020招致言説における復興—ポストコロニアル理論に立脚して—

A- 会場2:3階302教室: <身体技法> 座長: 西山哲郎(関西大学)

17A2-1: 亀山佳明(龍谷大学)

凍り付いたスポーツ「蹴鞠」についての考察

17A2-2: 迫 俊道(大阪商業大学)

伝統芸能の身体所作の指導・学習過程における「段階性」と「なぞり」に関する研究

17A2-3: 白石義郎(久留米大学)

森有礼の二人の弟子: 身体の西洋化

A- 会場3:3階303教室: <教育> 座長: 菊幸一(筑波大学)

17A3-1: 宮本幸子(笹川スポーツ財団)

母親のソーシャル・キャピタルの「質と意味」に関する一考察—子どものスポーツにおける保護者の役割に着目して—

17A3-2: 山中大輔(東京学芸大学大学院)

保健の授業成果に対する教師の評価に影響を与える要因

17A3-3: 田嶋大樹(東京学芸大学大学院)

放課後児童クラブにおけるスポーツの社会的意味に関する研究

●15：10～17：10 国際交流企画 4階 401 教室

<身体と質的研究 (The Body and Qualitative Research) >

司会	坂なつこ (一橋大学) / 鷺谷洋輔 (同志社大学)
基調報告	マイケル・アトキンソン (トロント大学)
指定討論者	高尾将幸 (東海大学)
	海老島均 (成城大学)

●17：20～18：20 学会総会 4階 401 教室

●18：30～20：30 懇親会 東京ガーデンパレス 3階 白鳳

◆ 3月18日(日) ◆

●9:00~10:30 一般発表 B

B- 会場1:3階301教室: <社会化> 座長: 亀山佳明(龍谷大学)

18B1-1: 足立 潤哉 (Eastern Illinois University 大学院卒)

Career termination and transition experiences of former collegiate student-athletes in Japan」

18A3-2: 石原豊一

「セカンドキャリアを見据えたアスリートの越境についての一考察—社会人野球の国外プロリーグへの選手派遣事例から—」

18A3-3: 山崎貴史(北海道大学)

障害者と健常者による協働的スポーツ活動に関する研究

B- 会場2:3階302教室: <メディア> 座長: リー・トンプソン(早稲田大学)

18B2-1: 水出幸輝(関西大学大学院)

新潟地震から東京オリンピックへ—1964年における2大ニュースの関係—

18B2-2: 石井克(北海道大学大学院)

新聞記事における「アスリート」言説の台頭とそのイメージの広がりに関する考察

18B2-3: 仲間厚人(東京学芸大学大学院)

メディアの現代性とスポーツの「物語」の変容

B- 会場3:3階303教室: <歴史> 座長: 石坂友司(奈良女子大学)

18B3-1: 八木久仁子(関西大学大学院)

明治大正期の女子野球

18B3-2: 古川岳志(大阪大学ほか)

韓国競輪誕生の歴史的背景と日本の競輪が与えた影響

18B3-3: 渡 正(順天堂大学)

1964年のパラリンピック東京大会における忘却と不連続

B- 会場4:3階304教室: <地域振興> 座長: 前田和司(北海道教育大学)

18B4-1: 笹生心太(東京女子体育大学)

社会的企業によるスポーツを通じたまちづくり—被災地の民間ボウリング場に着目して

18B4-2: 向山昌利(流通経済大学)

被災地におけるラグビーワールドカップ開催に向けた取り組みの現状と課題—釜石市役所の視点から

18B4-3: 岡田泰徳(東京学芸大学大学院)

町興しとソフトテニスの歴史社会学—鳥取県日野郡を事例として

●10:40~12:00 実行委員会企画基調講演 4階401教室

<オリンピックのレガシーとは何か?>

～アテネ、ロンドン、リオの取材を通して考えたこと～

講師：大越健介氏（NHK 報道局記者主幹）

12:00~13:00 昼食

●13:00~15:30 研究委員会企画シンポジウム 4階401教室

<スポーツとモニタリング>

司会 倉島 哲（関西学院大学）

発表者 柏原全孝（甲南女子大学）

ベルナール・アンドリュウ（パリ第五大学）

大沼義彦（日本女子大学）

通訳 鷺谷洋輔（同志社大学）

●16:00~17:00 一般発表 C

C- 会場1:3階301教室：<遊び> 座長：杉本厚夫（関西大学）

18C1-1：井上智介（東京学芸大学大学院）

大学応援団リーダー部の社会的機能に関する一考察—「聖・俗・遊」のパースペクティブから—

18C1-2：森本拓也（東京学芸大学大学院）

プロ野球ファンにおける「アンチ」の社会学的意味

C- 会場1:3階302教室：<地域政策> 座長：水上博司（日本大学）

18C2-1：安井大樹（筑波大学大学院）

総合型地域スポーツクラブの研究視点と今後の課題

18C2-2：高橋豪仁（奈良教育大学）

地方自治体のプロスポーツ支援に関する研究—公金支出差止等請求事件を巡って

C- 会場1:3階303教室：<医療> 座長：倉島哲（関西学院大学）

18C3-1：Patrick Jachyra（トロント大学）

Physical activity as therapy: Exploring the perspectives of adolescents with Autism Spectrum Disorder

18C3-2：本郷正武（和歌山県立医科大学）

医療化の進展による治療とエンハンスメントとの境界線の変容